



聖書を読む会 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル内

Tel/fax: 03-5577-4687 E-mail: sykoffice21@gmail.com

Web: <http://syknet.jimdo.com> 郵便振替: 00180-9-81537

「神の国に向かって生きる 1」-M.L.キング

聖書を読む会 理事（手引担当）

東京キリスト教学園 理事長

日本同盟基督教団 理事長

廣瀬 薫

「…『あなたの子孫に与えよう』と言って誓った地はこれである。わたしはこれをあなたの目に見せたが、あなたはそこへ渡って行くことはできない。」こうして、主の命令によって、主のしもべモーセは、モアブの地のその所で死んだ。（申命記 34 章 4～5 節）

前回（113 号）、救われた感謝で終わる「3 ポイントのキリスト教」ではなく、救われた後にある、神の国に生きる喜びと生き甲斐に溢れた人生を視野に置いた「4 ポイントのキリスト教」でありたいと書きました。そのような「神の国」に生きた信仰者として、私は M.L.キング牧師、賀川豊彦牧師、羽仁もと子女史を上げています。今回は、キング牧師について書きます。

神の国に生きると言っても、この世は罪の力が強く、願うようには伝道も社会改善も進まない現実があり、私たちは失望しやすいのでしょうか。しかし私たちは、神の国に向かって生きることをひたすら貫けばよいのだと思っています。そう分かせてくれた一つのきっかけは、キング牧師の説教です。

アメリカの公民権運動、人権擁護活動で知られる彼の説教は、「私には夢がある」が余りに有名ですが、今回ご紹介したいのは、1968 年 4 月 3 日の「私は山頂に登って来た」です。彼が暗殺された 4 月 4 日の前夜に語られた、キ

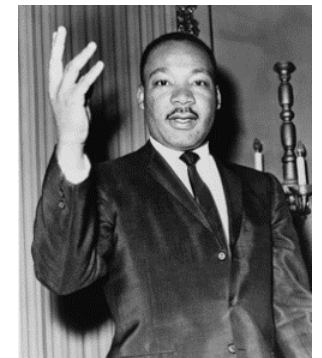
ング牧師の最後の説教です。この中で彼は、「私は約束の地を見た」と話し、その自分をモーセになぞらえるので、凄味のある内容になっています。モーセは 40 年の荒野の旅を経て、約束の地を目の前にして、しかしそこに入ることができませんでした。最後にピスガの山頂から約束の地を見渡します。

キング牧師は、39 歳の自分に死が迫っていることを知っていたようです。次のように語ります。「…私たちの前途は困難だ。私も人並みに長生きがしたいと思う。しかしそれは、主のみ心に従うことに比べればどうでもいいことだ。私は神さまによって、山頂に登って約束の地を見たのだ。…」そして、こう言うのです。「私は、皆さんと一緒にそこに行けないかも知れません」。自分の死を予感していたような言葉です。そしてこう続けます。「しかし今夜、皆さんに知って欲しい。私たちは、一つの民として、必ず約束の地に到達するのだということを」。「一つの民として (as a people)」という言葉に注目しましょう。キング牧師は、自分に行けないかも知れない。しかし約束の地は見えた。自分に行けなくても、神の民は必ず行くのだ。自分はその時地上に生きていなくても、神の民の一員として必ずそこに一緒に行くのだとはっきり自覚して満足しています。「約束の地」は究極的には世の終わりに完成する「神の国」を指しています。「今夜、私は幸せです。私は何も心配していません。私は誰をも恐れていません。私の眼は、主の再臨の栄光を見たのです」が、キング牧師の最後の説教の終わりの言葉でした。

神の国は、今も地に来つつあります。しかし私は、生きてゴールに入れないかも知れません。主の召しに応じて献身し、イエス様に仕えて来ました。しかし、願うリバイバルが成る前に死ぬかも知れません。けれども、目指す方向の先に何度か、約束の神の国を見る思いをして来ました。その方向に進み続ければ、生きて神の国の完成を経験できなくても、一つの神の民、一つのキリストの体として必ずそこに入ります。

これは、願う通りの結実をなかなか手にできない私たちにとって、大きな励ましとなることです。約束の地は用意されており、必ず日本の神の民はそこに至るのです。

大切なのは、神の国に向かって生きる方向性において、ぶれないことです。私たちの地上の生涯は尊く活かされたのだという喜びに至るのです。「神の国に向かって生きる」歩みを、主と共に、兄弟姉妹と共に定めましょう。



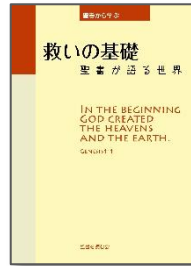
SYK便り

手引出版

「救いの基礎」出版のその後

昨年8月に出版した「救いの基礎」は、おかげさまで1月には初版を完売し、大急ぎで増刷した次第です！

そろそろ、最後まで学び終えたグループも出てきている頃と思われます。「難しい！」という声。「ベテランにはちょっと簡単すぎる・・・」という声もありました。Fax、メールなどで、ぜひ、皆様の感想をお寄せください。聖書全体を貫くメッセージをしっかりと理解したうえで、各書を学ぶことがとても大切です。その土台となる学びですので、ぜひ、何度でも読み直して理解を深めてください。



「マルコ」改訂版の出版

2017年 夏の出版を目指しています。お祈りください。

手引のデジタル化

いよいよ、聖書を読む会もデジタルの波に乗りました！

「救いの基礎」を、アマゾンで購入することができます。ほとんどの端末に対応しています。定価は印刷本より安い400円(+税)です！ 検索、ハイライト、など、デジタルならではの使い勝手の良さがセールスポイントです。ぜひ、お試しください。新刊、また改訂した手引は、順次、デジタル版として販売をしていく予定です。遠隔地や海外など、手引そのものが手に入りにくい方々のためにも用いられることを願っています。

献金について

「宗教改革500年を記念して」

聖書を読む会では宗教改革の恵みを感謝し、今年度の出版目標を立てました。一年を通してこのための献金を受け付けています。夏期献金もこのために使わせていただきます。詳しくは同封のチラシをごらんください。

「遺贈献金」について

遺言による遺産の寄贈をお考えの方はご相談ください。お預かりする献金は、各地で聖書が学ばれるために用いさせていただきます。

手引を使った感想 他グループはどんな感じ？

「救いの基礎」-東京のY教会 青年会の聖研の様子

青年会の学び、続いていますよー。よく考えさせる質問になっているのでいろいろな答えが出て、爆笑したり、お互いに教えられたり、聖書の深みへと漕ぎ出しているように感じます。聖書の世界が立体的に迫ってきたようです。教師が話すより、聖書自身から学ぶことに目を開かれ、発見するようです。ゆっくりとした歩みですが、良いテキストが与えられて感謝しています！

「旧約聖書の聖徒たち」-八王子の教会の方から

学びが終わった時、もう一度みんなで、各課のはじめとそれぞれのむすびの部分を読みつないだら、とてもよい復習になりました。最後の表は、書き入れるときはちょっと面倒くさいのだけど、これがあつたので学んだ内容を思い出すことができました！祈りのことばがとてもいいです。

「旧約聖書の聖徒たち」-横浜の教会の方から

日曜日のメッセージを聞く大切さは無論のこと、「聖書を読む会」の手引を使つての聖書の学びは、どれ程大切な時間の積み重ねであることかと思わされています。(中略)「旧約聖書の聖徒たち」の学びは、毎回降るほどの質問に感謝です(笑)。予習をするのに程よい量と、各課最後の「祈り」には、聖徒の特徴が凝縮され、参考になります。最終ページのまとめ一覧表も、後で役立つことに気付かされます。

事務所だより



新しいスタイルの「通信」はいかがでしたか。「コンパクトで読みやすく、読みたくなる記事」を目指します！事務所では、3人のパートタイム主事が奮闘中。島先、鈴木、福島。年齢も背景も違う3人が、手引制作・出版・機関誌作成・訪問・会計等を分担しています。OCCビルに移転してこの夏で2年。今、このビルは古くなった空調設備の取り換え工事中です。順調なら、今年の夏は快適に過ごせそう！